

## 第5グループ 第2回ミーティング議事録

日時：2006年5月20日（土）14:00～16:30

場所：名古屋工業大学 24号館 116号室

出席者：富永（名工大），浅野（庄内川），岩田（庄内川），北川（名古屋市河川），長谷川（堀川LC），山本（堀川LC），兼松（名工大学生），上葛（名工大学生），小池（名工大学生）

堀川の写真と堀川に関する資料の紹介

- ・写真スライドショーによる検討
  - 堀川沿川の空き地，樹木の状況，材木業の状況，護岸の状況，ゴミの状況，赤潮
- ・堀川沿いに産業遺産が発掘された．保存の嘆願書を名古屋市に提出．堀川LC護岸工事の支障となるが，形態だけでも残したい．護岸工事は1m当たり150万円
- ・堀川のパンフレット，散策マップ - 非常にたくさんある
  - 堀川のあらまし，タウンリバー堀川，堀川の歴史，名古屋の橋，堀川沿川散策マップ（中経連，中部建設協会），各区の史跡散策マップ
  - 堀川LCのCD ROMは次回持ってきてもらう
- ・堀川に架かる橋の数は53橋 - すべての写真はあるか
- ・ホームページからのマップ検索
- ・こうしたパンフレットはよくできている．作る過程は一生懸命やるが，できあがった段階で満足してしまう - その後の使い方，使われ方に対してフォローアップがない

議論

- ・このような一方通行的なパンフレットの状況を解消するには
  - マップなどをWEBで公開し，皆が作成に参加できるようにする
  - 堀川の沿川散策マップは部分的にたくさん存在 - 全部通したマップづくりはどうか
- ・散策に関しては，現地で案内板がないことが困る
- ・前回のまとめであげた，問題点，その対応に関して
  - 問題点については，いろいろな写真を見ることで浮かび上がる
  - 関心を集める手段として，すでにたくさんのPR資料や教材が存在する
  - これらがうまく使われていない点が問題
  - マップはどこで手にはいるのか - 区役所，堀川ギャラリー等
  - 堀川ギャラリーにどれだけの人が訪れているか
  - すでにあるものの使い方を考える

提案

- 1) 現地に案内マップを作る
  - ・散策マップ，史跡マップ，橋に番号を付ける
  - ・堀川ビューポイントに足跡を描く
  - ・行政が作るのでは意味がない
  - ・沿川の地域住民が作るべき
  - ・地域の小学校，中学校に呼びかける
  - ・この地域案内板を作ることをイベント

## 2) WEB上で写真コンテストを実施

- ・テーマ別にWEB上で写真を募集し、期限を設定して賞を決定
- ・テーマも募集する
- ・審査自体も参加者みんなで行う
- ・携帯からも投稿可能
- ・集めた写真を分類評価する
- ・堀川のマップと連動させる
- ・これをきっかけに堀川のみんなで作るホームページ，堀川辞典のようなものを作っていく
- ・理想的には wikipedia のようなフリー百科事典のような携帯を目指したい
- ・短期的にはこれもどきものは作れるかもしれない．ブログ的なもの？
- ・成長するホームページ
- ・景品を出すか - 撮影者に出すのではなく，その場所に賞を与える

## 3) ホリゴンを探せ

- ・ホリゴンとは？
  - 名古屋市の職員が考案したもの - 名古屋市の堀川のホームページ参照
  - 著作権はなし？ - 自由に使える？ - バナーとして使いたい
  - モリゾウ，キッコロは人気だった
- ・いろいろなところでホリゴンキャラクターを活用
- ・堀川沿川にホリゴンの絵を仕掛けて，参加者で見つけるようなイベント
- ・写真コンテストと連携して，ホリゴンの場所を決める
- ・ホリゴンのいろいろな動作，表情を作成したらどうか
  - 景色のいいところ：喜ぶホリゴン，汚いところ：悲しいホリゴンなど
- ・ホリゴンの絵で，動線を堀川へ誘導

### このグループの活動方針

- ・いろいろな企画を提案し，実際実行するのは，いろいろな団体，グループにゆだねるか
- ・単発ではなく，今後継続していけるようなシステムを作ることが重要
- ・これには地域住民の参加が不可欠
- ・おもしろい企画は企画として残す
- ・このグループでもできる範囲で実行する - 試行錯誤でかまわない
- ・上記3つの案を連動させる
  - 写真コンテストでいろいろなテーマの写真を集め，WEB上の堀川マップに乗せる．
  - 賞を受賞した場所や，意見が多かった場所に現地案内板を設置する．
  - ホリゴンを案内キャラクターとする．
- ・できるだけ多くの資料を集め，集大成 - 堀川全域の案内マップを作るか
- ・どうすれば多くの関心を集められるかという企画と技術的手段を研究
- ・2010年を目指し，大規模なイベントを企画すべき - そのための準備段階
- ・10万人？参加堀川大イベント - 環境がシンボル

### 次回ミーティング

6月24日(土) 14:00 ~ 16:00 名工大24号館116号室

- ・各自の企画案をレポートとして提出
- ・この連携プロジェクトで実現可能な案を絞っていく